

チーム医療演習

▶松永 佳子

2019年8月14日(水)・15日(木)、クロス・ウェーブ船橋でチーム医療演習が行われた。今年のチーム医療演習は、医療者間でどのように「情報共有」できたら良いのか、どのようなコミュニケーションがチーム医療をスムーズに機能させるのかというゴール設定をした。そこで、医療安全、チーム医療を中心に研究をされている共立女子大学看護学部教授の中原るり子先生に「チームステップス」について講義をいただいた。

1日目は、初めて顔を合わせるメンバーに緊張した様子が見られた学生たちも、自己紹介、それぞれの職の役割について討議を進めていくにつれて、打ち解け、活発なディスカッションが繰り広げられた。討議内容の発表は、パワ

ーポイントの技を駆使し、グループごとに特徴あるプレゼンテーションであった。

2日目は、前日の中原先生の講義をもとに、事例の討議が行われ、理想的な情報共有の仕方、ちょっとした工夫で伝わり方が異なるかもしれないということを学生たちは理解している様子が見られた。病院からサポートでいらした「本物」の医療職者によるロールプレイングを見学することで、より具体的なコミュニケーションのイメージが付いたようであった。

自ら考え、考えを伝えること、そして「聴くこと」がより良いチーム医療につながることを学生たちに伝わったように思う。(看護学部 家族・生殖看護学研究室 准教授)

